

18ヶ月未満の赤ちゃんとそのお連れ様に向けての
参加型ダンスパフォーマンス

くるん ころん

2018.7/14(土)

1回目11:30~ / 2回目14:00~

伊佐市文化会館 大ホール舞台

鹿児島県伊佐市大口鳥巣305

参加費:無料

ダンス 勝部ちこ 鹿島聖子

(コンタクト・インプロビゼーション・グループC.I.co.)

音楽 蓑茂尚美

連絡先 伊佐市社会教育課 0995-26-1554

主催:伊佐市教育委員会 助成:鹿児島県文化振興財団助成事業(平成30年度「わがまち文化劇場」事業助成金)

赤ちゃんとママ、パパに贈る
ダンスと音楽

「くるんころん」



お好きなように観てください
寝転がっても、動き回っても、踊ってもいい
じっと感じているのも、リラックスするのもいい
0歳からの芸術体験
保護者のみなさんも赤ちゃんと一緒に
五感をひらきましょう



赤ちゃん和妈妈、パパに贈る ダンスと音楽「くるんころん」

2018年7月14日(土)
伊佐市文化会館 大ホール舞台
鹿児島県伊佐市大口鳥巣305

ダンスの経験は必要ありません。
コンタクト・インプロビゼーションという即興ダンス
でふれあいながら親子で自由に観たり踊ったり。
ピアノの生演奏にゆったり包まれて、こころも
からだもリラックス!
終演後は、モグモグ・タイム。みんなでお話し
しながらランチやお茶を楽しみます。
文化会館までちょっとお出かけして、
いつもとは違う親子のふれあいをしてみませんか?



「くるんころん」について

即興のダンスと音楽の参加型パフォーマンスです。鹿児島県子ども劇場協議会から「乳幼児と保護者向けのアート作品を作って欲しい」という依頼を受け、C.I.co.が2013年に最初の「くるんころん」を制作しました。即興作品の特徴は、その時の空間、居合わせる参加者の方々によって、作品が変化していく面白さがあります。これまでに、鹿児島市、岡山県立大学、北九州芸術劇場、東京杉並区の保育園などで上演してきました。今年も、伊佐市をはじめ、霧島アートの森、里保育園(伊佐市)、東京、青森でも上演予定です。



- 参加対象・・・18ヶ月未満のお子さまと保護者 *保護者は祖父母・親戚も可
12ヶ月～18ヶ月歳児対象の回 11:30～13:00(ランチタイム含む)
12ヶ月未満児対象の回 14:00～15:30(ティータイム含む)

- 申し込み方法・・・氏名、住所、親子の年齢、連絡先、応募理由を明記し
電話、メールまたはFAXでお申し込みください。

伊佐市教育委員会 社会教育課 文化芸術係
Tel 0995-26-1554(直通) Fax 0995-26-1055
メール bunka@city.isa.lg.jp

- 参加申込期限・・・7月12日(木) *先着順
- 参加料・・・・・・・・無料
- 定員・・・・・・・・各組10組



- ① 参加対象年齢以外の兄弟など幼児が、一緒に参加することはできません。その際は託児サービスを御利用ください。(無料、要予約)
- ② ランチタイム、ティータイムのお食事やおやつは各自ご持参ください。(会場:小ホール)
- ③ 当日は動きやすい服装でお越しください。
- ④ 見学のみも可能です。希望の方がいらっしゃる際は、左記連絡先までお知らせください。

託児サービスあります!(予約制) *先着順
生後6カ月以上の乳幼児から対象、定員20人。
7/12(木)までに電話・メールでお申込み下さい。
①保護者名 ②電話番号 ③託児する幼児の名前
④幼児の年齢(何歳何カ月) ⑤幼児の性別をお知らせください。



勝部ちこ Chiko Katsube

大阪市出身。幼少よりクラシックバレエに親しむ。
お茶の水女子大学・大学院修了後、ニューヨークにダンス留学。帰国後、2000年にコンタクト・インプロビゼーショングループC.I.co.を東京に発足。国内外各地で活動。東日本大震災をきっかけに2012年鹿児島県伊佐市に移住。現在、伊佐市での生活を誇りに思いつつ、芸術の分野で、人々の動線を延ばしたい、交流人口を増やしたい、と考え2013年から国際CIフェスティバル「i-Dance Japan」を企画主催。TEDxKagoshima登壇、TV/ラジオ出演、霧島アートの森でのイベント企画など、地元での活動にも注力。共著「協同と表現のワークショップ」(2010) 東信堂。財団法人地域創造公共ホール現代ダンス活性化事業登録アーティスト。



鹿島聖子 Shoko Kashima

千葉県出身。ダンス・アーティスト/写真家
お茶の水女子大学大学院人文科学研究科舞踊教育学専攻修了。2002年に文化庁在外研修でニューヨークへ留学。2005年、C.I.co.に参加、以来国内外でコンタクト・インプロビゼーションの活動を行う。2013年よりアジア4カ国で協同するi-Dance Japan国際コンタクト・インプロビゼーション・フェスティバルを企画/制作。共著「協同と表現のワークショップ」(2010東信堂) NHKドラマ「はつ恋」(2012)のエンディングに出演。田舎に憧れ、2012年に偶発的に鹿児島に移住、自然農や養蜂などを楽しみ、より身体的・感覚的な生活を楽しむ。TEDxKagoshima、TVやラジオ出演、ワークショップやパフォーマンスなど活動は多岐にわたる。



菱茂尚美 Naomi Minomo

伊佐市を拠点に活動するピアノ講師。「音楽はコミュニケーションツール」が信条。2016年よりC.I.co.との即興パフォーマンスを始め、「熊本地震チャリティパフォーマンス」「都都市民文化ホールChicotto Live」、乳幼児とお母さんのためのパフォーマンス「くるんころん」「霧島アートの日Improvisation!!」などに出演。観客からは「宇宙に繋がるような声」「記憶のひだに染み込むような繊細な音色」と評され、多くの人を音で癒し魅了している。2018年、韓国・ソウルでのAsian Improvisation Art Exchangeに招聘され参加予定。故郷は伊佐市の十曾、超感覚的な思考と芸術性は高い自然に育まれたかも。

